

V 「基本計画」の実現に向けて

1. 中期経営目標の設定

「基本計画」の実現に向けて、同計画において設定した長期経営目標（平成31年度の到達目標）の中間目標として、中期経営計画期間終了の平成26年度までに到達すべき中期経営目標を設定し、その達成に向けて取り組んでいきます。

■基本的方向性1 安全・安心で良質な水道水の提供

指標	望ましい変化	平成20年度 実績・現状	中期経営目標 (平成26年度目標)	長期経営目標 (平成31年度目標)
かび臭からみたおいしい水達成率 【水道事業ガイドライン*1105】 [(1-ジェオスミン最大濃度/水質基準値)+(1-2-MIB最大濃度/水質基準値)]/2×100	↑	75.0%	80%以上	80%以上
貯水槽水道の管理充実	-	【中期経営目標・長期経営目標】 貯水槽水道の仕組みや適正な管理の重要性に関する広報の実施。及び貯水槽水道設置者に対する、適正な管理を促すための指導などの実施。		
水道GLP体制の維持	-	【中期経営目標・長期経営目標】 水道GLPの体制を維持するための、精度管理及び教育研修などの継続。		

■基本的方向性2 安定・信頼の水道システムの確立

指標	望ましい変化	平成20年度 実績・現状	中期経営目標 (平成26年度目標)	長期経営目標 (平成31年度目標)
配水ブロック再編成率 (配水ブロック再編成完了箇所数/配水ブロック再編成総数)×100	↑	83.1%	93.1%	99%
道路内埋設の鉛製給水管残存率 (道路内埋設の鉛製給水管残存件数/給水管件数)×100	↓	10.4%	3.7%	0%
浄水施設の耐震化推進	-	【中期経営目標】 平成25年度までに、茂庭浄水場系統の耐震化工事を完了。 【長期経営目標】 平成31年度までに、国見浄水場系統の耐震性を把握し、必要に応じて耐震化工事に着手。		
配水施設の耐震化推進	-	【中期経営目標】 平成26年度までに、荒巻・大年寺山配水所の耐震化工事を完了。 【長期経営目標】 平成31年度までに、安養寺配水所の耐震化工事の完了、及び他の施設の耐震性の把握と必要に応じた耐震化工事に着手。		

■基本的方向性2 安定・信頼の水道システムの確立

指標	望ましい変化	平成20年度 実績・現状	中期経営目標 (平成26年度目標)	長期経営目標 (平成31年度目標)
耐震性を有する管路の割合 (耐震性を有する管路延長/管路総延長) × 100	↑	83.7%	85.7%	87%
災害拠点病院などへの管路の耐震化率 (災害拠点病院などへの管路耐震化完了 数/災害拠点病院などの総数) × 100	↑	18.5%	55.6%	100%
拠点給水施設整備箇所数 災害などによる断水時に応急給水する ための拠点給水施設(非常用飲料水貯水槽、 応急給水栓など)の整備箇所数	↑	60箇所	75箇所	85箇所
有効率 (有効水量/年間総配水量) × 100	↑	94.8%	95.5%	96%

■基本的方向性3 お客様の視点に立った事業運営

指標	望ましい変化	平成20年度 実績・現状	中期経営目標 (平成26年度目標)	長期経営目標 (平成31年度目標)
お客様の声の施策への反映	-	【中期経営目標・長期経営目標】 お客様の声の的確な把握と施策への反映。及びお客様の声 に対する改善・検討事例の水道局ホームページなどでの公表。		

■基本的方向性4 環境に配慮した事業運営

指標	望ましい変化	平成20年度 実績・現状	中期経営目標 (平成26年度目標)	長期経営目標 (平成31年度目標)
二酸化炭素総排出量	↓	7,188 t・CO ₂	20年度比 2.7%減少	20年度比 7%減少
配水量1m ³ 当たり電力消費量 【水道事業ガイドライン4001】 電力消費量/年間総配水量	↓	0.14 kWh/m ³	20年度比 減少	20年度比 減少
再生可能エネルギーの導入	-	【中期経営目標・長期経営目標】 再生可能エネルギーの導入推進。		

■基本的方向性4 環境に配慮した事業運営

指標	望ましい変化	平成20年度 実績・現状	中期経営目標 (平成26年度目標)	長期経営目標 (平成31年度目標)
浄水発生土の有効利用率 【水道事業ガイドライン4004】 (有効利用土量/浄水発生土量)×100	↑	88.7%	90%	90%
【再掲】有効率 (有効水量/年間総配水量)×100	↑	94.8%	95.5%	96%

■基本的方向性5 経営基盤の強化

指標	望ましい変化	平成20年度 実績・現状	中期経営目標 (平成26年度目標)	長期経営目標 (平成31年度目標)
累積欠損金比率 【水道事業ガイドライン3004】 [累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100	↓	14.0%	9.9%	0%
給水収益に対する企業債残高 企業債残高/給水収益	↓	3.6倍	3.2倍	3倍

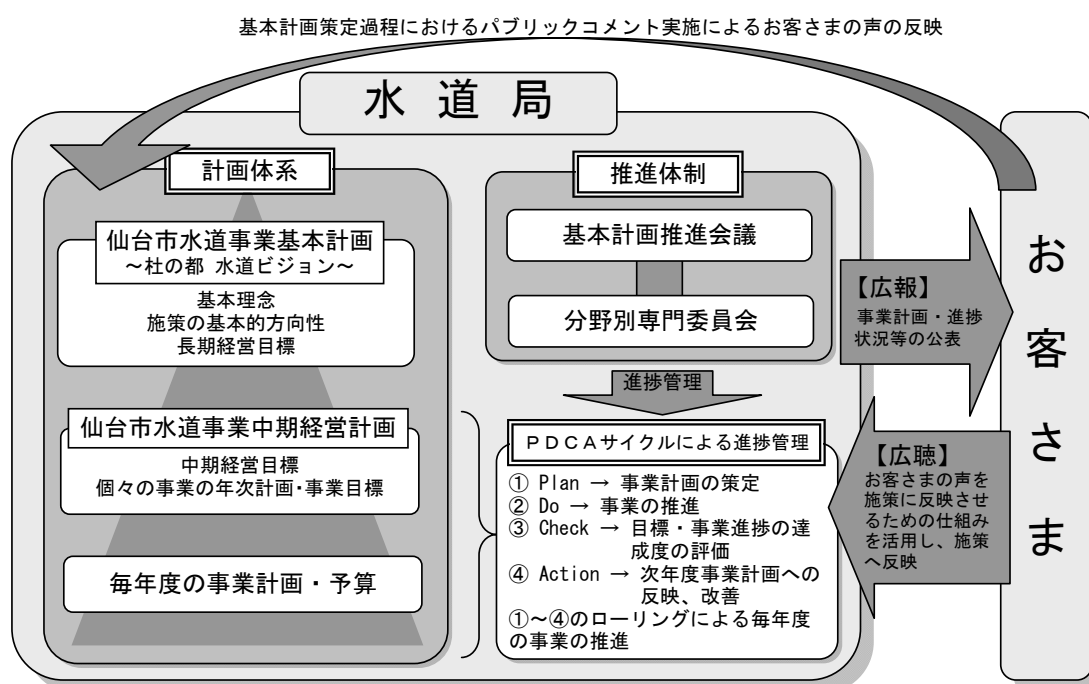
2. 進捗管理

本計画に掲げる中期経営目標、及び個々の事業ごとに定めた事業目標を達成するため、毎年度の予算編成、決算作業とも連動させながら、PDCAサイクルによる進捗管理を確実に実施していきます。

進捗管理を実施する体制については、水道事業管理者を議長とする仙台市水道事業基本計画推進会議と、その運営を補佐するために設置する分野別の専門委員会により行うこととします。

計画の進捗状況については、毎年度の予算・決算が確定し次第、広報紙やホームページでお客様へお知らせしていくとともに、お客様の声を的確に把握しながら、事業を推進していきます。

■計画の進捗管理手法と推進体制



また、進捗管理を効果的に行っていくためには、目標・事業進捗の達成度の評価（Check）が適切に行われることが重要であることから、進捗状況の評価手法のあり方については、引き続き検討を進めることとします。